

県新環境森林部長の挨拶

温暖化へ循環型社会の構築

産廃企業の指導的役割を

陽春の候、貴協会におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。また、貴協会が、産業廃棄物の適正処理やリサイクルの向上、あるいは健全な処理業者の育成等に指導的な役割を果たされていることについて、心から敬意を表する次第です。

さて、国内においては、20世紀の急速な経済成長とともに膨大な廃棄物が発生する社会となりました。また、このような廃棄物問題の深刻化とともに、資源需要の増大により更なる需給のひっ迫が予想される各種資源の確保も視野に入れることが必要となり、近年は、関係法令の整備等により、廃棄物の減量化や資源の有効利用など、循環型社会の構築に向けた取組みが広く実践されるようになり、廃棄物をめぐる情勢は大きく変化しています。



辰巳 清和 氏

21世紀は環境の世紀と呼ばれていますが、昨年秋に発足した新政権においては、地球温暖化対策を重要政策の一つに掲げており、環境省はこのことを踏まえた廃棄物処理法改正案を今国会に提案しているところであり、今後、廃棄物分野においても、温暖化対策に結びつく3R資源循環対策が一層求められることとなります。

本県では、現在、平成23年度から5カ年の廃棄物処理計画の策定作業を進めており、今後も多様な主体と連携し、これらの作業に取り組んでまいりますので、会員の皆さまのご理解とご協力をお願いします。

最後に貴協会が、引き続き県内の産業廃棄物に係わる企業の指導的役割を果たされることをお願い申し上げ、就任のご挨拶とさせていただきます。

第22回通常総会を開催

第22回通常総会は、平成21年3月12日(金)四日市商工会議所で開催され、約70名の会員が



詰めかけました。上杉副会長の開会宣言で始まり、木村亮一会長が挨拶で「22年度は、廃棄物処理法改正内容の浸透、低炭素社会への取り組み、公益法人改革への方向決定、20周年に向けての会員増加」の4点を強調しました。第1号議案の平成22年度事業計画(案)と第2号議案の平成22年度収支予算(案)を説明し、両案とも賛成多数で議決されました。第3号議案は協会宣言を読み上げ、最後に井上副会長が閉会宣言。また協会特別功労者表彰と講演会がありました。

平成22年度の事業計画

1. 事業計画

当面する協会の課題として、公益法人制度改革への対応があります。年度内に今後の方針を決定することとしています。平成22年度は、18年度に掲げた「次期20周年の目標」を更に進化させ「ジャンプ元年」とします。

2. 5つの方針

- ①県等行政機関と連携した産廃処理施策の推進②県民から信頼される優良事業者の育成③電子manifestoの導入啓発④災害廃棄物処理対策体制の充実⑤財政基盤の充実

3. 各委員会等の主な事業

- ①総務委員会：県議会及び県行政への要望事項取りまとめ、協会表彰、新規会員の入会促進②適正処理委員会：電子manifesto研修、実務(初任者)研修会、法令等説明会③広報委員会：広報誌「しろちどり」の発行、HPの充実④福利厚生委員会：県内外先進地事業所視察、職場安全講習会⑤排出事業者部会：先進事業所視察、先進的環境取組事例発表会⑥災害廃棄物専門部会：協力会員の増強、災害廃棄物情報伝達訓練⑦優良業者評価制度推進専門部会：評価基準説明会、相談会⑧医療廃棄物専門部会：適正処理研修会⑨青年部会：独自事業実施⑩環境美化活動の推進

平成22年度協会収支予算骨子

収入の部
87,527,000円

会費 29,330,000円 事業収入 16,204,000円 繰越金 40,058,000円
当期収入合計 87,527,000円
前年度より 12,122,885円増

支出の部
54,886,000円

- 1. 公益目的事業会計 30,622,200円
 - 適正処理推進事業 14,053,600円
 - ①産業廃棄物研修事業 3,882,600円
 - ②環境活動啓発・災害廃棄物処理事業 3,632,000円
 - ③産廃相談事業 4,007,000円
 - ④情報発信事業 2,532,000円
 - 許可講習会等事業 16,568,600円
 - ①産廃許可講習会事業 3,290,000円
 - ②マニフェスト普及啓発事業 13,278,600円
- 2. 収益事業等会計 19,209,800円
 - 協会運営、会員事業関係
- 3. 法人会計 5,054,000円 通常総会関係
当期支出合計 54,886,000円
前年度より 9,504,628円増

協会功労者を特別表彰



菅尾 孝作氏

平成22年3月12日に開催した通常総会で、長年協会役員として貢献されたスガコー建設(株)取締役会長、菅尾孝作氏とサトマサ(株)代表取締役社長、佐藤正行氏が協会特別功労者として木村会長から感謝状と記念品が贈られました。受賞者を代表して菅尾氏が「県や協会の指導で産廃が適正処理できた。今後も会員として協会を支えていきたい」と述べられた。



佐藤 正行氏

最近の協会の主な事業実績

1月19日(水)	災害廃棄物処理情報伝達訓練	協力会員
1月22日(金)	電子manifestoパソコン操作体験セミナー	津市地域情報センター
2月 3日(水)	電子manifesto導入研修会	四日市商工会議所
2月 5日(金)	全産連事務局責任者会議	東京都内
2月 9日(火)	特別管理産業廃棄物管理責任者講習会	四日市商工会議所
2月12日(金)	賛助会員会議	協会研修会議室
2月18日(水)	リスクアセスメント研修会	四日市商工会議所
2月22日(月)	中部地域協議会全体会議	岐阜市内
2月24日(水)	電子manifestoパソコン操作体験セミナー	なやセンター
2月26日(金)	平成21年度第4回理事会	協会研修会議室
3月12日(金)	第22回通常総会	四日市商工会議所
4月16日(金)	専務理事会議	愛知県産廃協会

鈴木美保氏らの講演会



講演する鈴木美保氏

3月12日、通常総会の後、元オリンピック銀メダリストの鈴木美保氏が「世界を目指す究極のチームワーク・リーダーシップ」をテーマに講演。苦しい練習の日々。それを乗り越えチーム一丸となつての戦いなど、熱っぽく話された。また、一般社団法人M-EMS認証機構代表・田中正一氏に「ミームスの概要～三重県版小規模事業所向け環境マネジメントシステム」について講演を頂きました。